

農林水産省

令和 4 年度

中南米日系農業者等との連携交流・ビジネス創出委託事業



## 訪日研修 募集要項

2022年8月

**CKC**中央開発株式会社

CKC Brasil

Rua Castro Alves 527, Aclimação, São Paulo - SP

CEP-01532-001, São Paulo – Brasil

TEL +55-11-3208-9610

E-Mail: [nikkeiagri@ckcbrasil.com.br](mailto:nikkeiagri@ckcbrasil.com.br)

WhatsApp +55-11-99379-1273 Patrícia Komatsu

## 1. 研修概要

### (1) 研修の目的

- ・ 所属組織の活動に付加価値を高める知識・技術を習得する
- ・ 日本企業とアグリビジネスの可能性を検討する
- ・ 日本の農業団体と交流し、日本との絆を強める
- ・ 帰国後に、所属する組織・地域での新たなビジネス・活動の立ち上げを目指す。

所属組織と日本企業のビジネス関係を創出するために、研修では、できるだけ日本企業との面談の機会を作ります。日本企業とのビジネスを含む新たな取り組みによって、地元・組織に貢献することに意欲のある方を募集します。  
さらに、帰国後にどういった活動をしたいか、具体的にイメージできている方を歓迎します。

### (2) 研修コース

日本で実施する研修は以下の表に示す3コースです。日程は前後する可能性があります。

研修コース		日程（出発～到着）	人数
1	アグリビジネス研修「生産性」	2022年10月7日～10月28日	10名
2	アグリビジネス研修「土壌」	2022年10月20日～11月10日	10名
3	女性活躍促進研修「特産品」	2022年11月10日～12月1日	8名
合計			28名

### 2019年の訪日研修の様子



研修の内容の詳細は次のページの通りです。2022年8月時点での案のため、研修内容は多少変更となる可能性があります。

## 研修内容（若手農業者等の育成研修）

### 1. アグリビジネス研修「生産性」

農業・食産業の組織を牽引していく次世代リーダー、特に新規ビジネスを始める意欲のある人を対象とする。

- 日本の最新の農業技術・資材、農業生産性を高める技術を学ぶ。
- 農業 Week・東京国際包装展といった展示会、種苗企業、有機廃棄物処理企業などを訪問する。
- 農産物の高付加価値化や6次産業化等の取組を学び、日本国内における農業関係者と交流を行う。さらに、アグリビジネス商談会によって中南米とのビジネスに関心を有する企業と交流し、所属組織での事業に活かすことができるかを検討する。
- 帰国後に、日本の技術・製品を活用した新たなアグリビジネスの立ち上げを目指す。

No.	日にち	曜	内容
1	2022/10/7	金	南米出発
2	2022/10/8	土	機内
3	2022/10/9	日	日本到着（必要に応じて、数日前に到着し待機）
4	2022/10/10	月	オリエンテーション
5	2022/10/11	火	道の駅（直売所）
6	2022/10/12	水	<b>農業 Week 幕張メッセ</b>
7	2022/10/13	木	<b>農業 Week、東京へ移動</b>
8	2022/10/14	金	報告書作成、 <b>東京国際包装展 東京ビッグサイト</b>
9	2022/10/15	土	休日（東京）
10	2022/10/16	日	休日（東京）
11	2022/10/17	月	愛知へ移動
12	2022/10/18	火	<b>種苗企業（愛知）</b>
13	2022/10/19	水	ウェビナー「農産物の高付加価値化」
14	2022/10/20	木	<b>有機廃棄物処理企業（愛知）</b>
15	2022/10/21	金	京都へ移動、 <b>種苗企業（京都）</b>
16	2022/10/22	土	休日（京都）
17	2022/10/23	日	東京へ移動
18	2022/10/24	月	東京近郊農場
19	2022/10/25	火	農水省訪問、 <b>中南米アグリビジネス商談会</b>
20	2022/10/26	水	報告書作成
21	2022/10/27	木	日本出発
22	2022/10/28	金	南米帰着

#### 東京国際包装展 2022

パッケージに関する最新機械・技術・サービスが集まる展示会。

<https://www.tokyo-pack.jp/>

#### 農業 Week 2022

最新の農業技術・資材・テクノロジーが集まる日本最大級の農業技術展。

<https://www.agriexpo-week.jp/tokyo/ja-jp.html>

**種苗企業・有機廃棄物処理企業**

## 研修内容（若手農業者等の育成研修）

### 2. アグリビジネス研修「土壌」

農業・食産業の組織を牽引していく次世代リーダー、特に新規ビジネスを始める意欲のある人を対象とする。

- 日本の最新の農業技術・資材、土壌環境を改善する技術を学ぶ。
- アグロ・イノベーションといった展示会、植物生長促進剤企業、農業ICT企業などを訪問する。
- 農産物の高付加価値化や6次産業化等の取組を学び、日本国内における農業関係者と交流を行う。さらに、アグリビジネス商談会によって中南米とのビジネスに関心を有する企業と交流し、所属組織での事業に活かすことができるかを検討する。
- 帰国後に、日本の技術・製品を活用した新たなアグリビジネスの立ち上げを目指す。

No.	日にち	曜	内容
1	2022/10/20	木	南米出発
2	2022/10/21	金	機内
3	2022/10/22	土	日本到着
4	2022/10/23	日	オリエンテーション
5	2022/10/24	月	東京近郊農場
6	2022/10/25	火	農水省訪問、中南米アグリビジネス商談会
7	2022/10/26	水	アグロ・イノベーション 東京ビッグサイト
8	2022/10/27	木	アグロ・イノベーション、日本土壌協会
9	2022/10/28	金	報告書作成、北海道へ移動
10	2022/10/29	土	休日（北海道）
11	2022/10/30	日	休日（北海道）
12	2022/10/31	月	ヤマカワプログラム農場視察（北海道）
13	2022/11/1	火	ウェビナー「土壌管理」
14	2022/11/2	水	農業ICT企業（北海道）
15	2022/11/3	木	東京へ移動
16	2022/11/4	金	植物生長促進剤企業（東京）
17	2022/11/5	土	休日（東京）
18	2022/11/6	日	山梨へ移動
19	2022/11/7	月	植物生長促進剤農場（山梨）
20	2022/11/8	火	報告書作成
21	2022/11/9	水	日本出発
22	2022/11/10	木	南米帰着

#### アグロ・イノベーション2022

農作物の生産、収穫、選果、加工、包装、販売における課題解決の場を提供する展示会。

<https://jma-agro.com/>

#### ヤマカワプログラム農場視察

微生物を活用した土壌の改善

<https://yamakawaprogram.net/>

農業ICT企業・植物生長促進剤企業

## 研修内容（日系農業者団体女性部の女性活躍推進研修）

### 3. 女性活躍推進研修「特産品」

日系社会の地域活性化に取り組む意欲のある女性を対象とする。

- 九州アグロ・イノベーションや“西日本食品産業創造展といった展示会を訪問し、日本における農産物加工や販売方法を学ぶ。
- 食品製造等の体験や、アグリツーリズムに取り組む女性の活動の視察をすると共に、農村女性団体との交流を図る。
- 帰国後に、所属する組織・地域でのアグリツーリズムや特産品開発の新たな活動を目指す。

No.	日にち	曜	内容
1	2022/11/10	木	南米出発
2	2022/11/11	金	機内
3	2022/11/12	土	日本到着（必要に応じて、数日前に到着し待機）
4	2022/11/13	日	オリエンテーション
5	2022/11/14	月	農村ツーリズム
6	2022/11/15	火	福岡へ移動
7	2022/11/16	水	九州アグロ・イノベーション 2022 マリンメッセ福岡
8	2022/11/17	木	西日本食品産業創造展 マリンメッセ福岡
9	2022/11/18	金	報告書作成
10	2022/11/19	土	休日（福岡）
11	2022/11/20	日	愛媛へ移動
12	2022/11/21	月	直売所・食品加工視察
13	2022/11/22	火	農協女性部との交流会
14	2022/11/23	水	東京へ移動
15	2022/11/24	木	加工品デザイン
16	2022/11/25	金	ウェビナー「女性活躍推進」
17	2022/11/26	土	休日（東京）
18	2022/11/27	日	休日（東京）
19	2022/11/28	月	農水省訪問
20	2022/11/29	火	報告書作成
21	2022/11/30	水	日本出発
22	2022/12/1	木	南米帰着

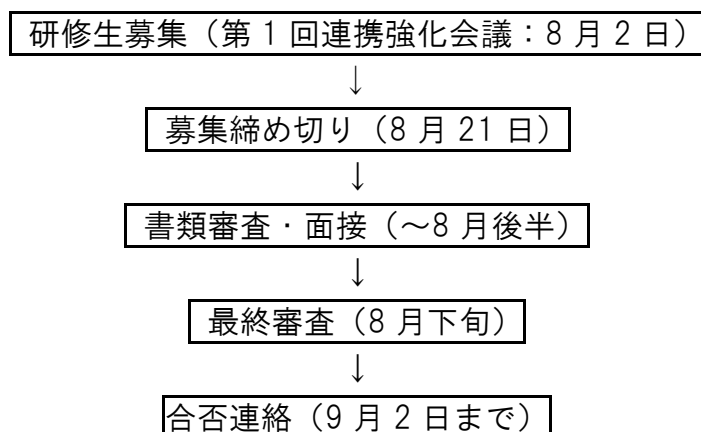
#### 九州アグロ・イノベーション 2022

農作物の生産、収穫、選果、加工、包装、販売における課題解決の場を提供する展示会。

<https://jma-agro.com/kyushu/>

#### 農村ツーリズム・農協女性部との交流会

## 2. 選考の流れ



- \* 8月2日に開催する第1回連携強化会議で募集を始めます。研修を希望する方は8月21日までに、事業ウェブサイト <http://www.nikkeiagri.jp> から、後に記載します応募書類を提出してください。
- \* 応募された書類に基づき、電話・面接（Zoomなど）をする場合があります。ただし、応募者全員を面接するとは限りません。
- \* 合否については9月2日までにCKCサンパウロ事務所から連絡します。
- \* 応募人数によっては、希望研修コース以外の参加を事務局から提案する場合があります。

## 3. 応募条件

### (1) 応募資格

- ・ 日系農業団体あるいは日系人組織に所属する人（日系人以外でも応募可能）
- ・ 所属する組織からの推薦を受けた人
- ・ **所属する組織及び日系社会に貢献することに意欲のある人**
- ・ **各組織からの推薦に人数制限はありません。** ただし、同じ組織から複数人いる場合には組織内での優先度を確認する場合があります。

### (2) 年齢

- ・ 特に年齢による制限はありませんが、次世代リーダー人材の育成を目的としていることから、若手を優先すると共に、より日常業務に活かせる学びの機会とするため一定の業務経験を有する人をより評価します。

### (3) 日本語能力

- ・ 日本語能力は問いません（必要であれば通訳をつけます）。
- ・ ただし、コース3については、人的交流がひとつの目的であることから、日本語で通訳を介さずに会話できる人をより評価します。
- ・ 研修生の中に日本語が苦手な参加者がいた場合、日本語がわかる研修生同士でサポートしてもらう場合があります。

## 4. 経費負担

### (1) 事業費から支払われるもの

- ・ 最寄空港～日本間の渡航費（往復航空券、エコノミークラス）
- ・ 日本での宿泊費、交通費
- ・ 日当（2,000 円/日×渡航日数）  
（※出発地の空港を出た日から到着地の空港に到着する日まで）
- ・ 旅行保険（医療費・損害）
- ・ ビザ取得費（パスポート取得費は含みません）
- ・ Covid19 検査証明書
- ・ 持っていくことのできる荷物は航空会社の規定に従います。超過分は個人負担となりますのでご了承ください。

### (2) 個人で支払うもの

- ・ 荷物超過分（航空会社の規定以上の荷物負担はできませんので、荷物の個数・重さについては自己責任で管理をお願いします）
- ・ 休日等で個人的に移動する交通費、など

## 5. 応募書類

研修を希望する方は、指定の応募書類（Word）に記載の上、所属組織の推薦状を添付し、事業ウェブサイト <http://www.nikkeiagri.jp> から、**2022 年 8 月 21 日までに提出**してください。

### 1. 応募フォーム [Microsoft Word 形式で提出する]

### 2. 所属組織の推薦状（書式は自由、推薦する理由が入っているもの）[スキャンした PDF]

記載内容	審査基準
1. 基本情報（氏名、年齢、国籍、連絡先など）	・ 年齢（希望研修内容と現在の活動内容による）
2. 活動内容（所属先、役職、業務）	・ 研修プログラムとの関連性 ・ 推薦団体内での希望者の立場
3. 目的意識（志望動機・理由、所属組織の課題、組織の経営戦略、日本の企業とのビジネス、研修後の活動案）	・ 目的意識の明確さ ・ 所属組織や地域への貢献度（将来性） ・ 研修後の活動の発展性 ・ その他
4. その他（日本への渡航経験、語学能力、健康状態）	・ 過去の経験・健康状態の確認
5 推薦する理由	・ 所属組織の期待度

## 6. その他

- ・ 来日前に所属組織での活動をまとめた資料を作成していただきます。
- ・ 研修終了時、研修についての報告書を作成していただきます。報告書を書くのが難しい場合にはサポートします。
- ・ 帰国後、必ず所属先に報告をお願いします。また、報告したことをCKCへ連絡ください。
- ・ 研修中に撮影した写真や動画は事業報告書や事業パンフレット、SNS、事業ウェブサイト等で使用させていただく場合があります。

### Covid19 関連

- ・ Covid19 ワクチン接種証明書を提示できること。
- ・ 出発時にPCR検査で陰性であること（陽性であった場合には参加不可となります）
- ・ 日本滞在中は、マスクの使用や手指の消毒など、必要な感染対策を十分に行うこと。
- ・ Covid19 感染状況によっては研修実施が困難となる可能性がありますので予めご了承ください。



農林水産省 Ministério da Agricultura, Silvicultura e Pesca do Japão

令和 4 年度中南米日系農業者等との連携交流・ビジネス創出委託事業


Projeto de Intercâmbio, Cooperação e Geração de Negócios dos Agricultores Nikkeis da América Latina 2022-23

訪日研修 Treinamento no Japão

記載日 Data : [ 15/08/2022 ]

参加希望研修 Curso desejado : [ 1 ] 第 2 希望 Segunda opção [ 2 ]

1. アグリビジネス研修「生産性」 Curso Agronegócios [Produtividade]
2. アグリビジネス研修「土壌」 Curso Agronegócios [Solo]
3. 女性活躍推進研修「特産品」 Curso Promoção de Mulheres [Especialidade]

項目 Item	内容 Conteúdo		
<b>1. 基本情報 Informação básica</b>			写真 Foto
氏名 Nome completo	ローマ字 em alfabeto: <b>Chuo Taro</b> 日本語名 em japonês: <b>中央 太郎</b>	性別 Sexo [ <b>M</b> ]	
生年月日 Data de nascimento	[ <b>10/03/1992</b> ]	年齢 idade [ <b>30</b> ] anos	
国籍 Nacionalidade	1) <b>Brasileira</b> 2) <b>Japonesa</b>	世代 Geração [ <b>3</b> ]-sei	
パスポート Passaporte	1)番号 Número [ <b>BR123456</b> ] 期限 Validade [ <b>27/07/2021</b> ] 2)番号 Número [ <b>JP7654321</b> ] 期限 Validade [ <b>01/12/2023</b> ]	* Atensão: Validade mínima 6 meses ** Caso tenha segundo passaporte	
連絡先 Contato	Cel: <b>+55-11-98765-4321</b> Facebook: <b>ChuoTaro</b>	Email: <b>chuo@ckcbrasil.com.br</b>	
住所 Endereço	<b>Rua Castro Alves, 527, Aclimação, São Paulo, SP, CEP 01532-001, Brasil</b>		
<b>2. 活動内容 Atividades</b>			
所属先 Entidade	複数ある場合には記載可。Caso tenha mais de uma entidade, pode listar várias. 1) <b>Cooperativa Agrícola de São Paulo</b> 2) <b>Fazenda Chuo</b>		
役職 Posição	1) <b>Cooperado / Líder de grupo de jovens</b> 2) <b>Admistrador Junior</b>		
業務 Cargo	今現在の活動を具体的に記載する。Descrever concretamente suas atividades atuais da sua função. 1) <b>Produção de uva e caqui. Presidente do grupo jovem da Cooperativa desde 2018 até agora.</b> 2) <b>Estou tomando conta de vendas e a produção de nova variedade de caqui.</b>		
職歴 Histórico Profissional	これまでの業務経験を具体的に記載する。Descrever concretamente as atividades na sua carreira (trabalho) <b>04/2009 - 03/2012 Produção na Fazenda Chuo</b> <b>04/2012 - 06/2012 Estagio pela JICA em Hokkaido</b> <b>07/2012 - 02/2014 Trabalho no Japão na indústria de veiculos</b> <b>03/2014 - atual Produção na Fazenda Chuo (Admistrador Junior)</b>		

あくまでも見本ですので、書きやすい方法で書いていただいで大丈夫です。  
また、可能な場合には日本語で書いていただけると幸いです。

### 3. 目的意識 Objetivo

志望動機・理由 Motivo/propósito de participação	研修に参加したい理由、研修で学びたいこと、所属組織・地域へ貢献したいこと Motivos do seu desejo de participar no curso, conhecimentos que gostaria de adquirir, e como gostaria de contribuir para sua entidade/região. - Gostaria de aprender exemplos de negócios e processamento de produtos agrícolas praticados pelas cooperativas agrícolas japonesas e levar à melhoria da rentabilidade das cooperativas agrícolas - Também gostaria conhecer as causas do problema da cadeia de comercialização, desde o produtor (origem), transporte, processamento, até procedimento de exportação, relacionado a quarentena no Japão que impede a importação dos productos agrícolas dos alimentos de países estrangeiros.
所属組織の課題 Problemas da entidade/região	所属組織・地域が抱えている課題 Problemas que sua organização/região enfrenta - Um dos problemas que nossa cooperativa enfrenta atualmente, é a falta de fiscalização dos próprios proprietários na embalagem das frutas conforme a padronização especificada pela cooperativa. - Também tem se observado que a falta e o alto custo de mão de obra é um dos maiores problemas enfrentados pelos produtores, (soluções como, aderir a novas tecnologias, etc)
組織の経営戦略 Estratégia de gestão da entidade.	長期的目標（所属組織に確認する） Metas de longo prazo (confirmar com sua organização) - Buscar oportunidade de produção de novos produtos, agregar valor aos produtos com o seu processamento u industrialização, buscar parcerias e oportunidades de nichos de mercados. - Melhorar as técnicas de cultivo de produção, introduzir novas variedades melhoradas.
日本の企業との ビジネス可能性 Possibilidade de negócios com empresas japonesas	可能性のある分野・技術（所属組織に確認する）【※研修3（女性活躍促進研修）の場合は記入不要】 Potenciais áreas e tecnologias (confirmar com sua organização) [*Não é necessário preencher, caso escolheu o Curso 3 (Promoção de mulheres),] - Embalagens que preserva o frescor dos produtos agrícolas ou poluam menos o meio ambiente. - As máquinas de processamento de frutas, por exemplo, secador de alimentos para fazer frutas secas.
研修後の活動案 Ideia de plano de ação após o curso.	帰国後に実現したい目標 Desafios que quer realizar após o retorno. - Buscar possibilidade de obter as ferramentas agrícolas ou secador de alimentos do Japão. - Lançar novo negócio de venda direta das frutas dos produtores aos consumidores na nossa cooperativa.

### 4. その他 Outros

日本渡航経験 Experiência de visita ao Japão	[ 3 ] vezes 04/2012 - 06/2012 Estagio pela JICA em Hokkaido 07/2012 - 02/2014 Trabalho no Japão na indústria de veiculos 10/2016 - 10/2016 Visita de familia	
語学能力 Domínio do idioma	1: bom(falar/escrever), 2: bom(falar), 3: regular(falar), 4: pouco, 5: difícil Japonês [ 1 ] 日本語能力試験 Exame de Proficiência Nível [ 1 ] 級	Português [ 1 ] Espanhol [ 4 ] Inglês [ 3 ]
健康状態 Estado de saúde	1: 良好 bom, 2: 病気 doença, 3: 怪我 ferida 日常生活に問題がなければ良好で可。Se não houver problema no cotidiano, pode escolher [1.bom] [ 1 ] ( )	
	Covid 19 のワクチン接種 Vacinação Covid19 [ 2 ] vezes Tipo de vacina [ Pfizer, Astrazeneca ]	
	アレルギー Alergia Tem alergia a ingestão de frutos do mar (camarão)	喫煙 Fumante Sim [ ] Não [ X ] (Para reserva de hotel)

スペースが足りない場合、枠を広げても大丈夫です。